管理番号	34

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ （括弧内は公募申請課題名）	献血血液を用いた末梢血単核球増幅培養法の検討 （同上）
研究期間	2017 年 12 月　～　2020 年 3 月
研究機関名	順天堂大学　形成外科
研究責任者職氏名	准教授　田中里佳

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名を記入してください。

研究の説明

1　研究の目的・意義・予測される研究の成果等

末梢血単核球には血管内皮前駆細胞とよばれる細胞が含まれており血管を再生する機能があるため再生医療に使用されています。本研究では、現在開発が進められている再生医療である生体外増幅末梢血単核球を用いた難治性潰瘍の細胞治療法において、細胞培養に関係する試薬の改良、スケールアップ、培養環境の改善や非臨床試験のために頂いた血液を使用することが可能であるかを検討します。頂いた血液が使用可能となることで本研究の進行が加速されれば、潰瘍が治らず足や手の切断の危機にさらされている難治性潰瘍で苦しむ患者様へいち早くこの治療法が届けられることになります。

2　使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：全血（規格外）

献血血液等の情報：なし

3　献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4　研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

①　献血血液（全血）から比重遠心法により末梢血単核球を取り出します。

②　得られた末梢血単核球を特殊な培養液で 7 日間培養します。

③　培養後、細胞を回収して、血管再生能や細胞の特性試験を行います。

5　献血血液等の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6　上記５を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号	30J0035

本研究に関する問い合わせ先

所属	順天堂大学　形成外科
担当者	田中里佳
電話	03-3813-3111　（内線 3374）
Mail	rtanaka@juntendo.ac.jp

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。

0000-00